

議 事 録

会議名	令和7年度 第1回寒川広域リサイクルセンター運営委員会		
開催日時	令和7年7月11日（金） 14時00分～15時00分		
開催場所	寒川広域リサイクルセンター 研修室		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	出席者 菊地委員長、金子副委員長、石田委員 事務局 原田環境経済部長、大山環境課長兼リサイクルセンター場長、赤井副主幹、筒井主任主事 傍聴者 なし		
議 題	(1) 資源物搬入・搬出量実績について (2) 資源物搬出量と売却額について (3) 施設見学者数について (4) 長期包括運営責任業務に係る年間運転計画について (5) その他報告		
決定事項	—		
公開又は非公開の別	公開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 資源物搬入・搬出量について 【事務局】 <資料 1-1、1-2 により説明> (2) 資源物搬出量と売却額について 【事務局】 <資料 2-1、参考資料により説明> (3) 施設見学者数について 【事務局】 <資料 3-1、3-2 により説明> (4) 長期包括運営責任業務に係る年間運転計画について 【事務局】 <資料 4 により説明> (5) その他報告 【事務局】 <説明>		

4 閉会

◆質疑応答◆

(1) 資源物搬入・搬出量実績について

【菊地委員長】

グラフで見ると戸数が多いから茅ヶ崎が圧倒的に多い。

【事務局（赤井副主幹）】

そのとおり。

【石田委員】

資料1-1の資源物の搬入量と搬出量だが、少し減っている。減る理由は。所帯数が少なくなったか。

【事務局（赤井副主幹）】

人口は、少しずつ増えていると思う。

【石田委員】

減るということは良いことか。

【事務局（課長）】

物によるが、ペットボトルは、だんだん本体が薄くなってきており、同じ本数が出ても、軽くなってきている。

マイボトルで自分の水筒を持って、ペットボトルをなるべく買わないようにする人も増えているかもしれない。

あとは、今までビンの容器だったものがペットボトルに変わると、ビンが減ることになる。

【事務局（部長）】

ペットボトルは、今はグチャグチャっと潰れてしまうものが多い。やはり薄くなっている。

(2) 資源物搬出量と売却額について

【菊地委員長】

3ヶ月ごとに単価が変わっているが、その都度、単価が違うということは、結構、変動しているのか。

【事務局（赤井副主幹）】

3ヶ月に1回、リサイクルセンターで入札を行っている。何社か入札いただいて、金額が1番高かったところと契約をする。

【事務局（課長）】

引き取り価格には波があるので、年間1回の入札では危険だろうと、年4回は、入札した方が良いのではないかとということで、当初からこのような方法で契約している。

【菊地委員長】

6年度は、単価が上がっている。

【事務局（赤井副主幹）】

品目による。参考資料の1ページ目のスチールプレスは、単価が令和5年度より下がっている。

2ページ目の鉄ガラは、上がったり、下がったりしている。

衣類布類は、下がってきている。

(3) 施設見学者数について

【菊地委員長】

自治会での見学は少ない。

【事務局（赤井副主幹）】

町内の自治会でいらしていただいているのは、委員長にも来ていただいているが、小動自治会ともくせいハイツ第2自治会。

【菊地委員長】

見学者が多くなると困るといえることがあるのか。対応が大変だとか。

【事務局（課長）】

困ることはない。どんどん来て欲しいところ。

【菊地委員長】

リサイクルセンターでのPRもするが、環境課でもPRしたらどうか。リサイクルセンターの見学を奨励するというか。こんなに立派な設備があって小学生と2つ3つの自治会だけしか来ていない。もっとリサイクルの大変さというか、分別の大事さを分かっていた方がいい。

自治会で「行ってみよう」とはならないだろうか。

小動自治会では見ようよ、となっている。

自治会の集まりの時に、倉見も宮山も話が出てこなければ、自治会の集まりの時に、俺、委員になっているから行こうよ、と言っただけで来てくれるようになるのでは。

【事務局（赤井副主幹）】

ここに載せているのは、令和5年度と令和6年度だけなので、過去に

は見学にいらしているかも知れない。

【菊地委員長】

リサイクルセンターは、もう10年以上経っているが、1度も見たことがないという人もいる。

住所は宮山だが、宮山というイメージより小動というイメージの方が強い。

自治会あげて、資源物の分別とか収集の重要性を理解してもらいたい。

【事務局（課長）】

自治会長が集まる機会に、自治会単位でも個人でも見学ができることを伝えていきたい。

【菊地委員長】

自治会はいくつあるのか。

【事務局（課長）】

22自治会。

【菊地委員長】

年間を通じて、今月の見学はどこ自治会と決めたらどうか。

小動は、強制はできないにしても10人前後来ている。

3年間、リサイクルセンターに勤めたことがあるため、手選別の大変さを分かっていただきたいと思う。臭いは鈍感な方だったが、一生懸命分別していた。分別の大切さを分かってもらえるかな、と思う。

自治会によっては、新しくできた住宅の人だと自治会に入らない人もいる。そういう人たちも、ごみを出さない訳じゃないから、どこかで大変な思いをして分別していることを分かってもらえる機会を作って欲しい。

今年も小動では、9月に見学しようと計画している。皆さまにもお願いしたい。

小学校は、結構来ている。

【事務局（赤井副主幹）】

茅ヶ崎もほとんど同じような学校である。

【菊地委員長】

寒川の小学校はこれで全校か。

【事務局（赤井副主幹）】

あとは、一之宮小学校と南小学校とで、全5校。

(4) 長期包括運営責任業務に係る年間運転計画について

なし

(5) その他報告

【事務局（赤井副主幹）】

7/31（木）に、小学校1年生から6年生までの児童とその保護者を対象とした「夏休み親子見学バスツアー」を開催する。申込期間は7/11（金）～7/24（木）。

また、8/22（金）に、小学校1年生以上を対象に「環境施設見学バスツアー」として、2回目のバスツアーを行う。申込期間は8/1（金）～8/15（金）。どちらのバスツアーも内容は同じ。

町のホームページから申込みいただくこととしており、寒川町在住者12名、茅ヶ崎市在住者13名の合計25名を上限に募集する。

7/31開催分については、本日8:30から町ホームページで申込受付が始まっている。午前中までで4人の申し込みがあった。

5/18（日）にさむかわ中央公園で「環境フェスティバル」が開催され、リサイクルセンターの紹介ブースを設けてPRを行った。

10:00から15:00までの間、リサイクルセンターを運営するエコセンター湘南の協力のもと、1時間に1回のペースで約20分間の施設紹介を行い、施設紹介の時間以外は手作りの分別体験ゲームを行うなど、盛況な一日となった。

当日はスタンプラリーも行っており、リサイクルセンターの施設紹介を聞くとスタンプを1個、分別体験ゲームをやるとスタンプをもう1個という形だったこともあり、リサイクルセンターのブースにもお客様がたくさんいらした。

バスツアーのチラシも配ったので、昨年より申し込みが増えることを期待している。

R5年7月に花壇ボランティア募集のポスターを掲示してから、3名からお申し出があり、現在は4人で活動している。

タウンニュース茅ヶ崎・寒川版の6月27日号で、花壇ボランティアの方が紹介された。ボランティアの方は励みになると話していた。

先日、購入したベゴニアの苗を綺麗に植えてくださり、冬はパンジーとビオラを植えてくださっている。

お客様も多くて、写真を撮っていらっしゃる方も多くいる。

【石田委員】

この4月から、ごみの出し方が変わった。

間違いが多いとか、変わったことがあるか。

【事務局（課長）】

スプレー缶収集を新たに始めて、スプレー缶の中に、缶が混ざると思ったが意外とない。今までは、普通の缶と一緒にスプレー缶を出してもらっていたので、4月から新たにスプレー缶だけの日が出て、間違えてしまう人は、缶の中にいれてしまうと思っていたが意外とないと実感。

【石田委員】

年齢が高い方は、ごみの分け方が分からないという人がいることを耳にした。説明資料があれば良いのだが。

【事務局（課長）】

ごみの分け方が分かりにくいという人が5人ぐらい集まっていたら、役場の職員がうかがって説明することができる。

自治会に行って説明したり、5人以上集まれば、そのグループに説明に行ったりしている。わからないという方がいらしたら、出張して色々とお話させていただければと思う。

【金子副委員長】

半透明の袋は、間違っていることも多い。

お店で半透明の袋を買って使ったが、ダメだと言われた。

半透明と言うより、最初から透明と言った方が良いのではないか。

【事務局（課長）】

「ごみと資源物の正しい分け方・出し方」などでは「透明」と書いており、「半透明」とは書いていない。今までの指定の袋ぐらいの透明度なら使っていただける。

ドラッグストアやスーパーの一部などでは、白くて中が全く見えない袋を半透明として売っている所もある。

【金子副委員長】

1枚なら見分けやすいけど、重なって売られていると分かりづらい。

【菊地委員長】

指定のごみを出すということは、有料であるということで、その収入によって、ごみを分別しているということを知ってもらっているかが

	<p>ポイント。</p> <p>袋に入れていれば良いなら、ただでもいいのだけど、あえてこの袋じゃいけないというのは、その経費は分別・収集費用に乗せている。</p> <p>【事務局（課長）】</p> <p>リサイクルセンターに持ってくるものは、指定袋ではなくて、透明な袋としているが、その透明具合が難しいと言われている。</p> <p>【菊地委員長】</p> <p>「透明」というのは、サランラップぐらいが透明。</p> <p>【事務局（課長）】</p> <p>プラスチック製容器包装を入れる指定の袋が透明とっていただきたい。</p> <p>収集するときに、しっかり中が見えて、余計なものが入っていないかの確認ができる。</p> <p>【金子副委員長】</p> <p>それでも持って行かない。中身が分かっても、ダメだと。</p> <p>【菊地委員長】</p> <p>それは、指定収集袋じゃないから。</p> <p>【金子副委員長】</p> <p>半透明の袋で出せるときがあった。</p> <p>【事務局（課長）】</p> <p>燃えるごみは、古い袋と新しい袋とがある。</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料 1-1 資源物搬入量・搬出量実績（R6 と R5 年度との比較）</p> <p>資料 1-2 資源物搬入量グラフ</p> <p>資料 2-1 資源物の搬出量と売却額の比較</p> <p>参考資料 R6 年度と R5 年度の売却額比較</p> <p>資料 3-1 R6・R5 年度寒川広域リサイクルセンター施設見学者数</p> <p>資料 3-2 寒川町・茅ヶ崎市の見学者数（個人見学を除く）</p> <p>資料 4 令和 7 年度年間運転計画</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>石田 稔 (令和 7 年 8 月 2 7 日確定)</p>